

表彰区分	マロニエ建築賞	
作品名	宇都宮駅東口交流拠点施設（ライトキューブ宇都宮） 宇都宮駅東口交流広場（宮みらいライトヒル）	
所在地	宇都宮市宮みらい1	
用途	集会場	
建物概要	構造：S造、RC造	敷地面積：9,403.31㎡
	階数：地上4階	延べ面積：11,485.36㎡
建築主	栃木県宇都宮市旭1-1-15 宇都宮市	
建築主	東京都新宿区西新宿1-26-2 野村不動産株式会社	
設計者	栃木県宇都宮市明保野町2-10 AIS アールアイエー隈設計共同体	
施工者	埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-75-1 前田・渡辺・中村・増渕建設共同企業体	
講評	<p>駅東口地区整備事業の一環として、駅前の交流広場と一体的に計画整備されたコンベンション施設である。宇都宮駅東口に接続し、降り立つ人々を受け入れる広場と大階段は、適度な囲まれ感やスケール感が与えられ、人々に動きや滞留を促し、東口全体につながり感や賑わい感、落ち着き感を創出している。採掘場をモチーフにしたという大谷石による外壁面がさりげなく目に入ることによるこの街らしさの演出や、新たに開業した宇都宮ライトレールの停留場とのつながりを意識したプランニング、上下レベルに立体的に設定された複数の広場との関係などにより、奥行き感のある心浮き立つ場になっている。コンベンション施設として、ダイナミックな動勢を表出するルーバーなどの特徴的な外観とともに、様々な使用方法に対応する合理性を追求した配置計画により、機能的かつ品位ある施設に仕上がっている。総じて、駅前に計画された交流拠点施設として、県内外の人々の交流の活発化を大いに期待させる空間と機能を備えた施設となっており、高く評価された。</p>	
	 <p>©川澄・小林研二写真事務所</p>	